

## 新型コロナウイルス対策ガイドライン

### 全般的な事項

「密閉」・「密集」・「密接」の三つの密を回避する。

- ①換気の悪い密閉空間
- ②人が密集している
- ③近距離での会話や発声が行われる

### (1) 大会参加に係る注意点

- ① 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる事  
(大会当日に書面で確認を行う)
  - ア 発熱(37.5度以上)や体調がよくない場合  
(例:咳・のどの痛み・だるさ・息苦しいなどの症状がある場合)
  - イ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
  - ウ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- ② 書類による体調の確認を行うため、試合当日の大会参加者全員の氏名、年齢と代表者の住所、連絡先(電話番号)を記載したもの(別紙健康チェックシート)を提出する
- ③ マスクを持参すること
- ④ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒の実施
- ⑤ 他の参加者、主催者スタッフ等との距離を確保すること  
(障がい者の誘導や介助を行う場合を除く)
- ⑥ 大会開催中は、大きな声での会話、応援等をしないこと
- ⑦ 感染拡大防止のために主催者が決めたその他の措置を遵守し、主催者の指示に従うこと
- ⑧ 大会終了後、2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること

### (2) 本大会の参加に際し配慮すべき事項

#### 1) 競技中の注意事項

- ① 試合開始時の整列及び礼は、副審の集合準備の合図で両チームがベンチ前に整列し、その場で礼を行う。試合終了時も同様の形態とする
- ② グラウンドレベルでの円陣は避ける
- ③ ロジンは各チームで準備することとし、バット、ヘルメット、グローブ、打撃用手袋など、可能な限り他の選手との共用を回避するように努め、共用せざるを得ない用具については、こまめに消毒を行う

- ④ 唾を吐く行為を禁止する
- ⑤ 選手、特に投手は指を舐めてはいけない
- ⑥ 握手、ハイタッチ、グータッチ、ハグなどの身体的接触を避ける
- ⑦ ベンチ内では選手間の距離をできるだけ確保する。また今大会は、ベンチの延長線上にベンチを認める区域を設ける。  
(なお、テントや椅子が必要な場合には、各チームにおいて準備する)
- ⑧ 各チームにおいて、消毒液を準備する
- ⑨ ベンチ内から声援や指示を出す場合は、対人距離に注意する
- ⑩ 監督、コーチが審判に近づく際は、最低2mの距離を保つ
- ⑪ 試合前の打順表最終確認の際は、マスクを着用し可能な限りお互いの距離を取り、監督、審判の握手は行わない
- ⑫ 参加受付時や着替え時等の競技を行っていない際にはマスクを着用すること
- ⑬ タオル、ペットボトル、コップ等の共用は避ける
- ⑭ 試合球については、試合中の消毒は実施せず、各試合終了後に消毒を行う

## 2) 応援の際の注意点

- ① 観戦者に発熱(37.5度以上)や体調がよくない場合には、観戦を遠慮してもらう  
(例:咳・のどの痛み・だるさ・息苦しいなどの症状がある場合)
- ② 応援の際は、マスクを着用する
- ③ 球場入口等に消毒液を設置
- ④ 観戦する場所は、1塁、3塁の各ベースより外野側とし、間隔を空けて観戦する
- ⑤ 応援方法については、以下の行為を禁止する
  - ア 肩組み、飛び跳ねなど集団での動きを伴う応援(接触感染リスク)
  - イ 立ったり座ったりを繰り返す集団での動きを伴う応援(接触感染リスク)
  - ウ 太鼓、トランペット等の楽器での鳴り物応援(飛沫感染リスク)
  - エ メガホン、スティックバルーンを使用しての応援(飛沫感染リスク)
  - オ 大声を出しての応援(飛沫感染リスク)
  - カ フラッグや応援タオルを振り回す応援(飛沫、接触感染リスク)

## 3) ごみの廃棄

- ① 飲食等の際に出たごみや鼻水、唾液などが付いたごみ、使用済みのテーピングなどのすべてのごみは持ち帰りを行う

## (3) その他

- ① 今大会は、新型コロナウイルス感染拡大を考慮し、事務局による弁当の斡旋は行わない